



## 受益者負担の考え方と 施設運営について

齊藤 貢一 議員



**質問** サービスに対する市民のニーズの多様化、税収減、経済環境の悪化の中、負担の公平性の観点から、公費負担、利用者が負担する受益者負担の割合についても、積算方法や負担割合を明確にし、定期的な見直しと基本方針を市民に示すべきと思うが、考えを伺います。

**答弁** 行政サービスや公共施設に係る経費は、物価変動や社会情勢、サービス内容により変動していくため定期的に適正化を図る必要があります。また、経費のうち、公費と受益者の負担割合基準を明確にし、市民の理解を得ることも必要と

考えています。

**質問** 学校の施設使用料について伺います。館林市立学校施設使用条例では、体育館・校庭等の使用料を定めているが、学校体育施設開放事業では、利用者に減免どころか、市が運営委託料を支払い、利用されている状況です。このことを、どのように考えていますか。

**答弁** 学校体育施設開放事業では、目的が社会体育の普及並びに幼児及び児童の安全な遊び場の確保という観点から、当初は使用料の徴収を行わなかったものと考えています。

**質問** 公民館の使用料徴収でも、減免措置対象に社会体育団体、社会教育団体、社会福祉団体と明記されていますが、その根拠は、はっきりと示されていません。また、公民館利用には、その減免判断を館長の裁量に任されている実態があります。減免の不公平感を正すためにも、こうした団体の要件を定め、教育委員会で

認可した上で減免団体とする認定制度に移行すべきと思うが、考えを伺います。

**答弁** 民間の習い事、教室等との差異も考慮し整理していかなければならないと考えています。また、団体の中身についても、明確な基準がありませんので、今後研究してまいります。

**要望** 市としての受益負担制度の定期的な見直しと基本方針の作成と公表、公平性の担保をしっかりと行えるよう期待します。



## 給食費無料化は世の流れ、今後について 体育館の冷房化について

吉野 高史 議員



**質問** 今後、給食費の無料化に向けた取組は。

**答弁** 今後は保護者の負担軽減を図っていきます。

**質問** 給食費を無料化にしたとき、目に映る光景は。

**答弁** 給食費が無償化することは喜ばしいことです。

**質問** 私の目には、バラ色の都市像が浮かんできます。

婚活には市外の本市出身者にも声をかけてほしい。若者が本市に戻ってくるきっかけにもなるが。

**答弁** 商工会議所青年部に依頼し、婚活パーティーを実施しています。

**質問** 本市職員や厚生病院の看護師などが婚活パーティーを一緒にやれないか。

緊急防災事業費も対象ですが、令和7年度で終了です。

**要望** 館林まつりのときに、出会いの婚活広場を設けて、きっかけづくりを推進してほしい。

**質問** 小・中学校体育館の冷房化を進めるための国や県からの補助金は。

**答弁** 令和7年度まで補助率21%、対象工事費が上限7000万円です。また、

緊急防災事業費も対象ですが、令和7年度で終了です。

**質問** 令和7年度で終わってしまう。今設計して国の予算を分捕って冷房費に充てる。時間が無い、すぐにやるべきだ。また、災害時の冷房化にもつながるが。

**答弁** 設置工事が伴う。小中学校を全部設計する個別案件なので難しいと思います。

**質問** 11校で1つ設計すれば済む。知恵を出さなくてはダメですよ。中学校を7年度に、8年度と9年度に小学校を行うなどの考えは。

**答弁** 吉野議員も結論を

**質問** 古く行財政運営を時代にあう運営にすべきだが。

**答弁** 公共施設の規模等、適正化を図っていきます。

**質問** 今年3月に20代30代の職員が14人辞めているが、どのように考えるか。

**答弁** 職場環境の整備に努めていきます。

**要望** 職員が一人も辞めないうような職場環境をシッカリとすることを要望します。